

Art of Hosting

—対話の場とコミュニティから共創と共働を生み出す技能と実践—





Art of Hostingとは？①

グループによる対話を円滑に行うためのホストを育成するための参加型トレーニングを **Art of Hosting** と呼びます。

※対話ではファシリテーターを置かないため、場をもてなす役割としてホストという言葉を用いています。

Art of Hostingの「Art」は、絵画や演劇、美術品ではなく **スキルや技能** を指します。



Art of Hostingのプログラム

Art of Hostingは、2～4日の合宿形式で行われます。

↓Art of Hosting（2010年5月、日本）のプログラム例↓

1日目

13:00 スタート
1、オープニング
2、チェックイン
3、ワールド・カフェ
4、ハーベスト
5、ロープと音楽を使ったワーク
18:00 夕食
19:00 夜のセッションスタート
1、レクチャー
ホストのための7つ道具
2、チェックアウト
21:00 1日目終了

2日目

9:00 2日目スタート
1、チェックイン（参）
2、レクチャー
発散と収束、グロウンゾーン
3、メソッドワークショップ
ワールドカフェ、OST、AI、サークル、グラフィックファシリテーション
4、ネイチャーウォーク
18:00 夕食
19:00 夜のセッションスタート
1、OST（参）
2、チェックアウト（参）
21:00 1日目終了

3日目

9:00 スタート
1、チェックイン（参）
2、ワールド・カフェ（参）
3、OST（参）
質問：この場に何を投げかければ、あなたの命を生かすことができますか？
4、クロージング（参）
16:00 終了
*（参）は、参加者による実施。終了後にチャレンジャーを募り、コーチングを受けながら準備を進めて、実際にワークショップの一部を実施します。
*ワールドカフェ、OST、サークル、AIは対話の手法の名前です。



Art of Hostingの様子

ワールド・カフェ



レクチャー（講義）



OST（オープン・スペース・テクノロジー）



空間を彩るアート





Art of Hostingの様子



Art of Hostingは、自然豊かな清里高原
(KEEP協会) で行われます。

非日常的空間をふんだんに活用し、中と外
を同時に使いながらプログラムを進行しま
す。

←会場から見える清里の風景



Art of Hostingは、実践経験豊か
な講師を複数名（4~5名）海外
から招聘し、様々な角度からの
トレーニングを実現します。

また、進行に合わせて随時小グ
ループによるコーチングとレク
チャーを行います。

※ワークショップには通訳が4名付きます



←5月に来日した4名の講師



Art of Hostingとは？②

また、Art of Hostingは、グループによる対話からコミュニティを生み出す具体的な実践としての側面も持ちます。

Art of Hostingは、組織や地域にコミュニティを生み出すことで、組織や地域を再生したり、新しい活動を生み出すための取り組みとしても活用されています。



Art of Hostingとは？③

Art of Hostingは、1990年代の終わりに、ワールドカフェやAI、OSTなどの対話の手法の実践者たちが集まり、個別の手法から統合的な実践への昇華として生まれました。

その後、北米、カナダ、ブラジル、フランス、オーストラリア、フィンランド、スウェーデン、ニュージーランド、など**実践的なスキルを学び、身につける機会として世界中で実施**されています。日本では、2010年5月にArt of Hosting in Japanが主体となり77人のメンバーと共に実施されました。

また、Berkana Institute（ベルカナ研究所）を通じて、インドやメキシコ、南アフリカ、ジンバブエなどで**Art of Hostingを通じたコミュニティ再生による支援**の取り組みが行われています。



Art of Hostingから得られるもの

Art of Hostingは、

- ・参加型ワークショップ、研修の創り方
- ・大人数の対話を円滑に進める手法とスキル
- ・自発的に活動するチーム／コミュニティを生み出す方法
- ・組織の中に新しい活動を生み出すための方法

について学び、実践する機会を提供します



Art of Hostingで学ぶ対話の手法

ワールド・カフェやOST (オープン・スペース・テクノロジー) は、多くの人数 (20~1000人以上) で同時に対話を行うためのプログラムの名前です。

Art of Hostingでは、様々なプログラムに参加と実践、講義を通じて学び、実際に出来るように身につけていきます。

※ワールド・カフェのより詳しい紹介はこちらから → <http://bit.ly/9StoTS>



Art of Hostingで学ぶ対話の手法

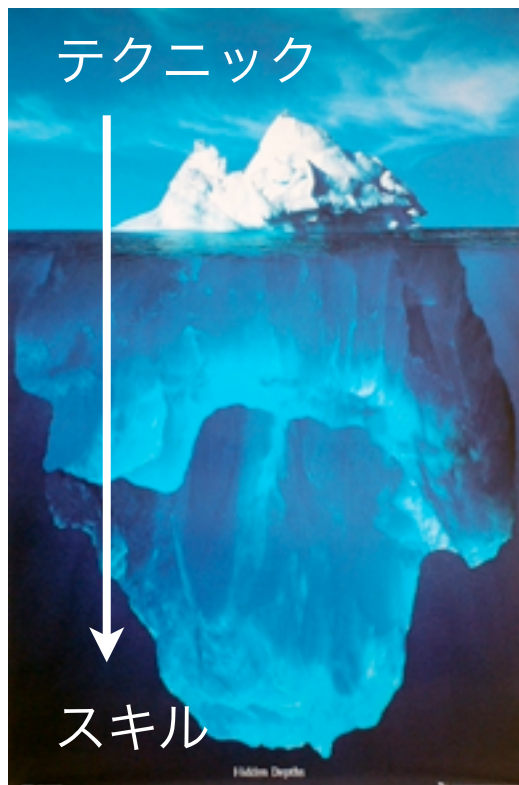
手法だけを身につけても、どのような場面でどの手法を使うのが適切かが分からなければ宝の持ち腐れになります。

Art of Hostingでは、**それぞれの手法の特徴を学び**、また、参加型のワークショップや研修の**全体のプログラム**を作るための**理論**について学びます。



Art of Hostingの目的

Art of Hostingでは、目に見える手法だけでなく、手法を実践するための目に見えないスキルについても同時に学びます。



多くの人と協力し、共に新しい活動やアイデアを生み出すためには、表面的な手法だけでなく、様々な場面に応じて実践出来るスキルが必要です。

ファシリテーションやコーチングのテクニックが氷山の上だとすると、Art of Hostingでは、海面下に隠れたスキルについても参加と実践、レクチャーを通じて学んでいきます。

Art of Hostingでは、実際に使える応用可能なスキルを身につけることを目的としています。



Art of Hostingの目的

Art of Hostingで身につけるスキルは、

「場を設けること」「多くの人と行う対話を円滑に進めること」を目的としたものです。

それらは、多くの人々が協力し合い、新しいアイデアと行動を生み出すために新しい解をもたらしてくれます。



Art of Hostingの活かし方

Art of Hostingで学んだことは、

- ・ 組織の中で、多くの人が円滑に対話し、新しい行動やアイデアを生み出すための場づくり
- ・ 地域の中で、住民が話し合い、互いに知恵を持ち寄り、よりよい地域づくりを進めていくための場づくり
- ・ 参加型の研修や授業、対話型のワークショップのプログラムをつくり、実施すること
- ・ 人が集まる時間をより有効で創造的な場に変え、コラボレーションや創発を生み出す場にする

などに活かすことができます。



Art of Hostingの参加者

Art of Hosting参加者は、

- ・ 企業内教育の担当者、責任者
- ・ 地域づくりに取り組む人
- ・ ファシリテーター／講師
- ・ 企業経営者、経営幹部
- ・ 大学教員
- ・ 教師（小学校、中学校、高校）
- ・ コーチ（企業内コーチ、パーソナルコーチ）
- ・ 起業家
- ・ 様々な専門領域の大学生
- ・ カウンセラー、心理療法士
- ・ 組織変革のコンサルタント
- ・ NPOリーダー、メンバー

などです。（5月の参加者を参照）



Art of Hosting参加者の声①

中野 民夫さん 53歳

ワークショップ企画プロデューサー & 会社員

Q. 現在の仕事や取り組み、プロジェクトについて聞かせてください。

会社で、環境、CSR、企業とNGOや市民の連携などの仕事に従事する一方、ワークショップ企画プロデューサーとして、ビーネイチャースクールなどでファシリテーション講座を開いています。また、立教大学大学院、明治大学、聖心女子大などで、ワークショップ型の授業を展開。さらに、環境や国際協力、開発教育、などのNGOにも多数関わっています。

様々な場で、人と他者・自然・自分自身がつながり直す場をつくることで、みんなが地球の子どもたちとして可能性いっぱい生き合える社会をめざしています。

Q. Art of Hosting に参加する前にどのような期待がありましたか？

ファシリテーションの新潮流として、どんなものがあるのかな？と。

Q. Art of Hosting に参加するようになってどんな変化や学びがありましたか？

何十年もファシリテーションをやってきたいい歳をしたボブやスーザンやぼくらが場をうまくファシリテートできるのは当たり前で、若い参加者が、やりたいという気持ち、やれるという自信、もっとやりたいという意欲、を持って、帰ってもらおうアート・オブ・ホスティングのやり方に感銘を受けました。完全に、次世代の育成を意識している大人の間づくりだと思い、50歳過ぎてかなり意識していた若い世代のサポートをさらに意識するようになりました。

Q. Art of Hosting に参加した感想を聞かせてください。

最初の夜のゲストのジャムセッションのようなリレートークはかっこいいなあ、と思いました。その後、ホスティングチャンスをとくさん作るだけで、本人たちは表に出てこないで、一参加者として楽しんでいる様子で、「あれ？新しいコンテンツ提供してくれるんじゃないの？」と思いました。でも、ホスティングに手を挙げたメンバーの事前打ち合わせを裏でサポートしていると聞いて、納得。上で書いたような、人材の育成に完全に焦点を置いた、大人の間づくりだなあと感銘を受けました。



Art of Hosting参加者の声②

榎本 英剛さん 40代

CTIジャパン

Q. 現在の仕事や取り組み、プロジェクトについて聞かせてください。

CTIジャパンを通じてコーチングやリーダーシップのトレーニングを提供するとともに、チェンジ・ザ・ドリームやトランジション・タウンなどの市民運動を通じて持続可能な未来づくりに取り組んでいます。

Q. Art of Hosting に参加する前にどのような期待がありましたか？

AoHに参加した動機は、はっきり言って「流れを感じたから」です。そして、その流れがどこに自分を連れていこうとしているのかを知りたくて参加しました。

Q. Art of Hosting に参加するようになってどんな変化や学びがありましたか？

AoHに参加していろいろな学びがありましたが、やはり対話は重要であるということと、その場を創る上で自分が学んできたコーチングが多いに役に立つことを痛感しました。

Q. Art of Hosting に参加した感想を聞かせてください。

いろいろな手法や理論を身に付けた多種多様な人たちが集まっていたのが印象的でした。そういう人たちと話していて、今こそ手法や理論を超え、共有できるビジョンをめざしてつながり合うことが大事だと感じました。



Art of Hosting参加者の声③

長曾 崇志さん 39歳

(株)ヒューマンバリュー (組織変革コンサルティング)

Q. 現在の仕事や取り組み、プロジェクトについて聞かせてください。

組織変革プラクティショナーとして、企業やNPOなどの実現したい未来創造を支援させていただいています。

Q. Art of Hosting に参加する前にどのような期待がありましたか？

自分のプラクティショナーとしてのあり方を探究し、高める機会になればと期待していました。また、他の参加者の方の志や想いに触れて刺激を得るとともに、新たな仲間と出会いたいと思っていました。

Q. Art of Hosting に参加するようになってどんな変化や学びがありましたか？

自分のメンタルモデルを手放し、場のエネルギーを心の底から信じることで、一人ひとりに意味のある何かが生成されることをあらためて実感することができました。場と自分を切り離すのではなく、一体として取り組む姿勢は、自分の中に生きています。

Q. Art of Hosting に参加した感想を聞かせてください。

率直に言って、とても楽しく刺激的な3日間でした。ボブが言っている Enspirited leadership の考えに心から共感しました！



Art of Hosting参加者の声④

西 郁代子さん 34歳

金城大学

Q. 現在の仕事や取り組み、プロジェクトについて聞かせてください。

福祉職養成の学校で、実習をサポートしたり、地域福祉という科目を担当したりしています。その他、仲間と一緒に石川県でワールドカフェを企画開催しています。

Q. Art of Hosting に参加する前にどのような期待がありましたか？

教室がもっと生き生きして動くようになるための、何かヒントがあるんじゃないかという期待。

どんな場になるんだろうというワクワク感。

「対話がしたい！」という気持ち。

Q. Art of Hosting に参加するようになってどんな変化や学びがありましたか？

対話を通して背中を押されたり、同じ思いをもつ仲間と出会えたりしたことで、「こうだったらなあ」で終わるのではなく、10のうち3くらいは行動が伴うようになりました。あとは、AoHで学んだことを授業で実践してみたのですが、それまで印象が薄かった学生さんほど、どんどん「自分」を発揮してくれて、正直感動しました。

Q. Art of Hosting に参加した感想を聞かせてください。

参加者の熱い思いや行動力に圧倒されて、半ば記憶が飛んでます（笑）。でも、今確信できていることは、いつか自分自身の中から熱い思いや行動力が湧き出た時、清里での経験に支えられるんだろうな・・・ということです。何となく「つながってる感」は残っています。



Art of Hosting参加者の声⑤

安原 三紀子さん 40代

労働組合専従役員

Q.現在の仕事や取り組み、プロジェクトについて聞かせてください。

仕事の性質上、最低限の労働条件維持向上、雇用確保などの業務がありますが、それ以外に重要なのは働く場のありとあらゆる人間関係の構築（コミュニケーション創り）です。

Q. Art of Hosting に参加する前にどのような期待がありましたか？

改めて「場作り」について学びたかったので、どんな人たちがどんな思いで、どんな手法をもって集まるのか、そこで何が得られるのか、漠としたものでしたが、具体的な期待は特に持っていませんでした。私自身が今いるところから一步踏み出すことが自分に対する課題でしたので。

Q. Art of Hosting に参加するようになってどんな変化や学びがありましたか？

核となるのは、関わる人の主体性と、人間性（思い、人格、徳）であるということ。

手法は手法に過ぎないけど、重要ということを改めて学びました。

Q. Art of Hosting に参加した感想を聞かせてください。

具体的に何を学んだか、というのは書くのは難しいですが、地元に戻って場作りの勉強会に入りました。思いを共有できる人とかかわり続ける、学び続けることが大事だと思っています。



Art of Hostingを支える人



Bob Stilger / ファシリテーター

BobStilger氏は、The Berkana Instituteの共同代表として、世界中のNGO、コミュニティをリーダーシップとコミュニティ強化の面から支援してきました。また、California Institute of Integral Studies (CIIS/カルフォルニア統合学研究所)では、Leading Changeの博士号を取得し、変化を導くプロフェッショナルとして北米を拠点に、南アフリカ、ジンバブエ、ブラジル、インド、を中心に活動しています。対話のホストであり、ファシリテーター、コンサルタント、コーチ、ティーチャー、スピーカーとして様々な形で活動してきています。

http://www.collectivewisdominitiative.org/files_people/Stilger_Bob.htm



西村 勇也 / 企画運営者

大阪大学大学院にて人間科学 (Human Science) の修士を取得。研修ベンチャー企業、(財)日本生産性本部メンタルヘルス研究所を経て、08年4月より『ダイアログBar』の活動を開始。2年間で22回の「対話の場」を設け、約1000人が参加。現在は、ファシリテーター&プロセスデザイナーとして、組織変革、ESD (Education for Sustainable Development)、地域活性、ソーシャルイノベーション、デザイン、などの分野で活動。2009年12月より、The Berkana Instituteと協働し、多数のメンバーと共にArt of Hosting in Japanを始めとした国内プロジェクトを運営。対話の場づくり、変革のプロセスデザイン、コミュニティ構築に取り組む。TEDxTokyo yz 共同設立者

<http://positivelearning.seesaa.net/>



Art of Hostingの実施団体

Art of Hosting in Japan／主催

2010年に、Bob Stilger（The Berkana Institute 共同代表）、西村勇也（Art of Hosting in Japan Founder）を中心に多数のメンバーによって開始された、日本における Art of Hosting を活用した社会変革の基盤を創造することを目指した取り組み。2010年5月に、日本で初めての Art of Hosting を開催。Art of Hosting を通じた、対話のファシリテーターの育成／トレーニングを始め、地域コミュニティへの取り組み、イノベーションを生み出すための組織変革の支援、などに取り組む。40-60名の流動するメンバーと共に運営されており、Art of Hosting の他にも様々なプロジェクトを企画、運営している。

<http://artofhosting-japan.org/>

The Berkana Institute／共催

The Berkana Institute は、1992年に Margaret Wheatley（「リーダーシップとニューサイエンス（英治出版）」の著者、変革とリーダーシップにおける世界的な権威）によって設立されたコミュニティに根ざした社会的問題を解決することを目的とした非営利組織。ラーニングジャーニー、Art of Hosting などの対話を基盤としたプログラムを活用し、世界中の様々な取り組みを支援している。

<http://www.berkana.org/>

ダイアログBar／共催

2008年4月に代表の西村勇也によって始められた、対話の場（Dialogue+Ba(r)）を創る活動。カフェを貸し切ったワールドカフェ+ゲストトークの場を中心に、2年半で28回のダイアログBarを開催。東京を中心に、京都、大阪、名古屋、滋賀で開催され、のべ1000人を超える参加者が集まる。2009年10月に、ダイアログBarの経験を通じた「[ワールド・カフェの準備と実施の手順](#)」をオープンソースとして発行。企業、NPO、大学、地方、などでの実践、様々な社会変革プロジェクトや団体との協働など、創造的な社会づくりのための対話の場づくりに取り組んでいる。

<http://positivelearning.seesaa.net/>



Art of Hostingの協力団体

英治出版株式会社

<http://www.eijipress.co.jp/>

財団法人キープ協会 清泉寮

<http://www.seisenryo.jp/>

Issue + Design プロジェクト

<http://issueplusdesign.jp/>

ユナイテッドピープル株式会社 BADO!プロジェクト

<http://www.bado.tv/>

World Cafe Net

<http://world-cafe.net/wcw2010aut/>



Art of Hostingへの招待

Art of Hostingは”誰でも”参加出来る開かれた機会です。

組織や地域をより良くすること、より良い社会を創ること、何か新しい変化を生み出すこと、実践者としてのスタートを切ること、など、様々な目的で参加することが出来ます。

運営は多数のメンバーと共に非営利の任意団体によって行われています。

また、Art of Hostingには、新しい共創と共働の可能性に関心を持った人たちが集まっています。

Art of Hostingの出会いと学びは、人生を通じて活かすことができますはずです。

新しい参加をお待ちしています☆



Art of Hostingの日本開催に関する情報

【第2回】 Art of Hostingワークショップ

日時：2010年11月19日（金）～21（日）

場所：山梨県清里高原KEEP協会

※東京から会場までは約2時間半です。開始は13時、終了は16時を予定しています。

詳細・問い合わせ・質問は、

→ <http://artofhosting-japan.org>



Art of Hosting in Japan